



開知

令和6年3月1日号

佐世保市立世知原小学校
校長 兼 正晴

東日本大震災

長崎から、東北、北陸は遠い。

あれだけの出来事であっても遠く離れた場所から、被災の現実を想像することは難しい。

普段の日常生活の中で、どれだけ思いを寄せているのか。

東日本大震災から5～6年経過したとき、ある保護者から

「学校は何をしますか？あれだけの災害を忘れては駄目ですよ。」

と意見があった。

その通り、3月11日を忘れてはいけない。せめて年に一度、黙祷を捧げたい。

今年度の6年生は平成23年度生まれ、東日本大震災の時は、まだ生まれていない。



気仙沼市立階上中学校: 梶原裕太君の卒業式答辞をネットで検索してみてください。

☆☆☆世知原小アレコレ、「家庭寮」について☆☆☆



体育館前に「家庭寮跡」の石碑が設置されました。校舎改築のため、移動していた石碑を今回、学校敷地内に戻していただきました。学校沿革によると「家庭寮」は、昭和11年に女子生活教育を進めるために建設されたものです。昭和11年当時は、小学校を卒業した後、女子は家庭の労働力と考えられていたため、青年学校（大正15年、16歳以上の青年が対象）へ進学するものは、ほとんどいなかった

そうです。そこで、「家庭寮」を設置し、寝食共にする中で、将来家庭の柱になるための学習を進めていたとのこと。最初の入寮生は、5名と記録に残っています。また、学校沿革には「女子生活教育の県北の中心となる」と記されており、この時代の世知原町の教育は先進的であったと思われます。

今では、当然男女関係なく、同じ教育を受けることができますが、一昔前までは全く違った状況があったことが分かります。また、その時代に女子教育の必要性を認識されていた先人の方々の思いが、今でも世知原町には残っているような気がします。



学校給食における窒息事故

マスコミ等でも報道されていますように、他県において児童が学校給食で提供されるうずらの卵をのどに詰まらせ、亡くなるという事故がありました。本校でも事故防止に向けて、くり返し指導しているところです。また、給食だけでなく、御家庭での食事においても、同様のことがあり得ます。そこで、次のようなことを気掛けていただき、お子様に声を掛けていただければと思います。

- ・ 食事時間を確保し、落ち着いて食べるようにする。食事途中で、席を離れたり、遊んだりしない。
- ・ 食べ物は、よく噛んで飲み込むようにする。
- ・ 大きな食材は、箸やスプーン等で小さく切ってから食べるようにする。または、前歯で食材を噛みきり、大きさを調整してから食べるようにする。
- ・ パンはちぎって食べる。ちぎったパンを小さく丸めないなど、食べ物で遊ばないようにする。
- ・ 餅等の噛みきりにくい食材や、あめ玉等の丸い食材は、飲み込みによる事故に注意する。

本校の子供たちは、給食を落ち着いて食べています。今後も安心安全な給食時間であることを大切にしていきます。

○○○○○世知原っ子、がんばれ！○○○○○

大会名	種別・種目、記録、氏名	期 日
第69回子ども県展（絵画）	入選 1年	令和6年1月21日
	入選 4年	
	入選 5年	
	入選 5年	
	入選 5年	
	入選 6年	
第69回子ども県展（版画）	特選 6年	
	入選 1年	
	入選 1年	
	入選 6年	
第33回日整全国少年柔道大会	敢闘賞 長崎県（6年）	令和5年11月19日



子ども県展（版画）
特選 6年

子ども県展に19名の子供たちが入選しています。素晴らしい結果です。本校には、芸術家がたくさんいます。今後も、様々なことに挑戦し、多くの場面で自分らしさを発揮して欲しいと思います。